

# 介護分野に障害者の力

大宮公共職業安定所（ハローワーク大宮）は、グループホームの巡回清掃などを行うMCSハートフル（本社・さいたま市、今野雅彦社長）を、介護事業を手掛けるメディカル・ケア・サービス（同、山崎千里社長）の障害者雇用にかかわる特例子会社に認定した。認定は職業安定所の所長が厚生労働相から委託されて行っているもので、県内に親会社がある企業では6社目、介護事業では県内初という。ハローワーク大宮では「今後も県内企業に対して特例子会社の設立を支援し、障害者雇用を促進したい」としている。

この制度は、障害者の雇用促進と安定を図るため、事業主が障害者の雇用に特別な配慮をした子会社を設立し、一定要件（従業員のうち障害者が5人以上で雇用率が20%以上など）を満たす場合、子会社に雇用されている労働者を親会社に雇用されているとみなし、法定雇用率（従業員数56人以上の民間企業の場合、障害者の占める割合は1.8%以上）に算入できるもの。

事業主側は、障害者の特性に配慮した仕事の確保・職場環境の整備が容易となり、障害者の能力を十分に引き出すことができるほか、障害者側にとっても

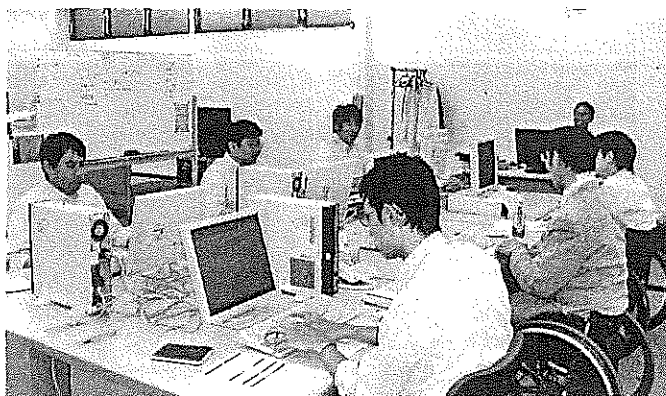
## MCS 県初の特例子会社認定

雇用機会が拡大するなどのメリットがある。

メディカル・ケア・サービスは、認知症対応型共同生活介護事業を主とした介護サービス事業を埼玉を中心に全国で展開しており、MCSハートフルは9月1日に設立されたメディカル・ケア・サービスの100%出資会社。事務所は上尾市平塚にあり、従業員数は14人でうち障害者は12人。

業務内容はグループホームの巡回清掃のほか、パソコンのセットアップやシステム補助、印刷、広告宣伝などを行っている。

県内の特例子会社数は17社で、東京、神奈川、大阪に次いで全国（今年4月末現在281社）で4番目に多い。



障害者雇用にかかわる特例子会社に認定されたMCSハートフルでは、パソコンのセットアップやシステム補助などの事務系業務も手掛ける  
 上尾市平塚の上尾事務所